

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、活動
をつづ 続けています。

くろするろ〜ど

会報誌

2017/6月号

〜サロン月間カレンダー〜6月〜



「日本語教授法研修初級I始まる」

■サロンでお茶会

- 6月9日(金) 午前10時30分〜12時
絵手紙教室 (費用100〜200円)
- 6月16日(金) 午前10時30分〜12時
生け花教室 (花代500円) 要予約
- 6月23日(金) 午前10時30分〜12時
ゆかた着付け教室 (費用100円)
- 6月24日(土) 午後1時30分〜午後4時
市民講座 料理教室 (費用1000円)
- サロン10人 市民20人
- 6月30日(金) 午前10時30分〜12時
ダンス教室

研修部会 萱生由美子

今年度も「研修初級I」が5月11日からスタートしました。参加者は29名(市民24名、現ボランティア5名)です。

今回は全11回で、最終回はサロンのオリエンテーションを行うことになりました。

第一回目も昨年とは異なった構成です。

前半の柏崎先生の講座は、まず、“部屋の四隅”というゲームでグループ分けをしてから、日本語ボランティアの意識についてグループで話し合い認識を共有することから始まりました。そして国語教育と日本語教育の違いについて具体的なお話がありました。

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申込みはサロン事務局まで。

■ボランティア勉強会

テーマ：私達のクラス・部会はこんなことやります！<10部会の話し合い>

日時：6月21日(水) 午前10時〜12時

場所：サロン3階第1会議室

■国際ふれあい会 一私のふるさとを語るー

日時：7月1日(土) 午後2時〜4時

場所：サロン3階第2会議室 詳細は“みんなのひろば”をご覧ください。

後半の30分はサロンの紹介です。会長の挨拶に続いて、学習5部会の代表から各部会の現状や特徴について、そして個人の体験などが語られました。皆さんの話から日本語ボランティアの楽しさが伝わってくるようでした。

その中のお一人が“座右の銘”としている『凡庸な教師はただしゃべる。良い教師は説明する。優れた教師は自らやってみせる。そして、偉大な教師は心に火をつける。』という言葉が印象的でした。

柏崎先生のグループワーク効果で、初日とは思えないほど打ち解けた雰囲気スタートした今年の教授法研修。受講者の方達の瞳がキラキラと輝いて見えました。



「くらやみ祭りに行きました！」

才丸 パンナライ (タイ)

5月3日、わたしは主人といっしょに大國魂神社のお祭りに行きました。行ってすぐに、わたしは食べ物のお店を見たいと思いました。けれど主人は、「神社に来たら、最初にお参りをしたほうがいいんだよ」と、教えてくれました。それで、ちゃんと手と口を洗って、お参りをしました。

その後、歩いて色々なお店を見て、「何を買おうかな」と考えました。お店で売っているものには、お菓子がきれいに飾りをつけたバナナチョコレートなど、見ていて楽しい物もありました。わたしは、お好み焼きとバナナチョコレートをかうことにしました。

座って食べようと思って、神社でいつも座る場所に行きました。けれど、そこにはロープがはってあって、中には入れませんでした。ゴミを置いて行く人がいると、困るからかもしれません。でも、お祭りの時には座って食事をしたい人がたくさんいるので、もっと色々な場所が座れるようになると思います。その後わたしと主人は、小さな場所を見つけて、そこで食事をしました。

神社には、ゆっくり居たかったのですが、たくさんの人で混んでいるので、長くは居られませんでした。それで神社を出て、山車を見ました。音楽の演奏や、お面をつけて踊る子どもたちが、楽しくてよかったです。タイでもお祭りの時に踊りがありますが、お面をつける踊りではないので、少しちがいます。山車の中の演奏や踊りは、外国人にはとてもおもしろいです。子どもの踊りも、とても上手でした。

日本でもタイでも、お祭りの時には、みんなで力を合わせて楽しく盛り上がります。国は違いますが、お祭りを元気に楽しむ気持ちはおなじだなと思いました。

たくさん人がいて疲れたけれど、楽しい1日でした。



「インドネシアに来てください！」

アジ バユ サムドゥラ アリム(インドネシア)

インドネシアは、たくさんの文化をもつ国です。

700以上の言語があります。インドネシア語は、マレー語からきていますが発音はちがいます。

インドネシアのお金は、ルピアです。1円は、100ルピアです。スーパーでマンゴーは、一つ30円です。定食は、ごはん、チキン、野菜で、50円です。ジュースは50円、水は30円です。果物は安いです。

私のうちの前に、マンゴー、バナナ、レモン、パラミツ(ジャックフルーツ)などの木が、たくさんあります。その木の果物は、誰でも、ただで食べていいです。

料理は、 런던 というビーフ料理が有名です。ココナッツミルクと、とうがらし、ガルガンガル、ショウガ、ターメリック、ニンニクなどのスパイスミックスを使っています。とてもおいしいです。250円です。

日本人は、ていねいで静か(おとなしい)です。インドネシア人もていねいですが、よくしゃべります。うるさいくらいです。

日本人は、規則に従いますが、インドネシア人は、ときどき、規則に従いません。例えば、赤信号のときでも、ときどき、バイクは止まりません。とても危ないです。

陸の観光地は、キャンディボロブドゥール遺跡と、ジャカルタのモナスが有名です。でも私はモナスには行ったことがありません。

海は、ロンボクとバリが有名です。とてもきれいです。私のうちからロンボクまでバイクで30分です。私は、週に3回、ロンボクで泳ぎました。泳ぎは少し得意です。

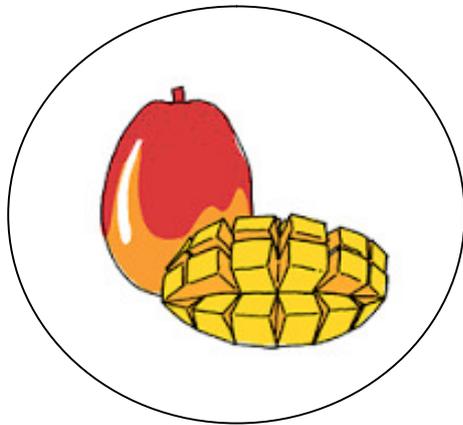
みなさん、是非、インドネシアに来てください。



キャンディボロブドゥール遺跡



ジャカルタのモナス



マンゴー

「私のふるさと紹介」① (北海道)

月曜午後ボランティア 川口哲也

今日は私が生まれ育った北海道の紹介をさせていただきますが、まずは北海道の四季に触れて、それから北海道の飲食物と観光地を中心に話をしていきたいと思います。なお、ここで紹介する事については、あくまで私の個人的な考えに基づいてお話ししますので、北海道に関するみなさんの一般的なイメージとは大いに違うかもしれませんが、その点はどうかお許してください。

北海道の長い冬が終わる待ちに待った春が訪れると、梅と桜が同時に咲くように花々が一斉に咲き乱れます。この時期が北海道で一番良い季節かもしれません。

そして梅雨がないのですぐに夏がやってきます。夏の時期は短くて、子供たちが喜ぶ学校の夏休みもわずかに三週間程度（ちなみに冬休みも三週間から四週間程度）、ぼやぼやしていたら、あっという間に休みが終わってしまい、夏休みの宿題に苦労しない子供はいません。でもこの時期は涼しくて東京のような猛暑にはならないので過ごしやすく快適です。

旧盆を過ぎるとすぐに秋めいてきますが、「食欲の秋」だの、「読書の秋」だのと言っているうちに早くも雪がチラチラと舞い始めます。

そして長くて寒さ厳しい冬がまた始まるのです。10月の下旬からどこの家庭でも暖を取り始め、それを4月の下旬ぐらいまで続けます。その間にどっさり降り続く雪に喜ぶのは、小さな子供と犬ぐらいで（最近では北海道でも犬を外で飼う家が少なくなっていますから犬もあまり喜ばないかもしれません）、たいてい人は、うんざりします。スキーやスノーボード愛好者とても毎日それをやるわけではありませんから雪の多さには閉口します。結局、北海道の冬を喜ぶのは観光客だけです。それも最近とはくに台湾、香港や東南アジアの雪が降らない地域から訪れる観光客には大人気になっています。また、オースト

勉強会報告

～第82回～

「日本語が初めての学習者への教え方」

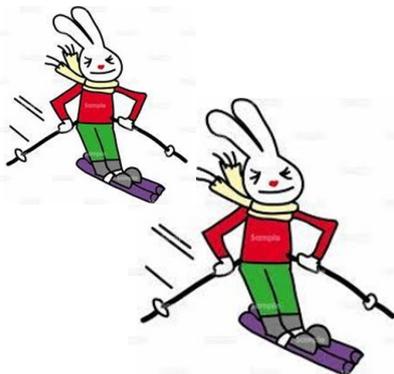
研修部会 大島洋子

ラリアのスキーやスノボ愛好者にとっては聖地化しています。そして、この事が北海道の経済に良い影響を与えているようで、「北海道の冬」も有力な観光資源の一つとして最近は見直されています。私が過ごしていた昔、誰もが呪っていた北海道の冬の頃と今は、様変わりしたということですね。

5月17日(水)は28名が参加し、表記のテーマで教え方のコツや工夫、経験談など活発に意見が交わされました。その一部を紹介します。

- ◆ 初めての人は何をどこまで教えるか見極める必要がある。学習者のニーズに合わせて、短期の滞在者なら電車の乗り方や買い物の仕方など、生活に必要な語彙をまず教える。
 - ◆ 初めての人にはまず笑顔であいさつ。緊張をほぐしうちとけ、相手を知ることから始める。
 - ◆ 全く話せない人には現物や絵、写真、絵カードなどの活用が効果的である。地図、時計、お金、チラシ、カレンダーなど小道具を用い、生活に密着したものから教え、馴染んでもらう。まずは音のみ、反復練習を。
 - ◆ スマホは写真、音声入力(シャドウイングに活用)、辞典代わりと活用範囲が広い。
 - ◆ 初級者に話す時は、自然さには欠けるが、つなぎの言葉(あのう、えーと、えー、まあ等)を入れずに、語彙・文型・発音をコントロールして意識的に話すようにする。
 - ◆ 日本語が全くわからない人に英語を使ってしまった。使わずにやるのは難しい。
 - ◆ 理解をたすけるために媒介語を使うこともある。相手の状況に応じて使ってもよい。
 - ◆ 全く話せない人には、日本語が上手な同国人学習者に仲立ちを頼むと相手は安心して緊張がとける。これはサロンの強みである。
- 参加者の多くから「笑顔で」との言葉が繰り返されました。日本語が話せず不安と緊張の中にいる学習者への教え方の秘訣は、私達ボランティアの笑顔です。

なお初級者向きのテキストの紹介もありました。詳しくは勉強会記録をご覧ください。



皆さんよろしく◇学習者紹介

サルバトーレ カンノーネさん(イタリア)



「将来の夢は、映画を作ることです」

サルバトーレさんはイタリアのローマから今年の10月に、日本人の奥様と3人のお子さんと共に日本に滞在することになりました。夏休みなどには何回も来ていましたが、長期滞在は今回が初めてで、6月には、イタリアに一時帰国しますが、その先のことはまだ決まっていません。現在11歳のお子さんの教育のこともあり、ゆっくり考えとのことです。

お仕事はイベントのコーディネイトをしていて、世界中のスポーツイベント、音楽関係のイベントなどの入場券、ホテルなどの手配をしています。ですから、世界中をとびまわっていますが、ネットでお仕事をするので、どこに住んでもさしつかえないそうです。

食べ物は魚が好きで、お寿司もお刺身も好きですが、身体のためにお肉も時々食べます。

お仕事と趣味を兼ねてシナリオを書いています。将来は自分の書いたシナリオで映画を作りたいという夢を語ってくれました。(堤林)



私の☆つばやき

「『くろすろ一ど』が縁結び」

月曜午前ボランティア 原田 満彦

「くろすろ一ど」のおかげで、25年前の教え子(K君)が連絡を取ってくれました。K君はインターネットで2016年9月号を閲覧して、私を見つけてくれたのです。私はボランティアになるべく、昨年の5月から7月までの柏崎先生による「日本語教授法研修」に参加しました。その後、研修に参加した感想の原稿依頼を受け、拙い文を投稿しました。K君はこれを見つけたのです。しかも、私の欄の左側には研修風景の写真が載せられていて、柏崎先生が講義されている右隅に小さく私が写っているのです。K君はこの写真の中に私を発見し、間違いないと確信したそうです。私は言われて初めて、自分が写っていたのを知りました。川崎のG中学校に勤務していたころは八王子に住んでいて、その後府中に移ったのでK君とも音信不通になってしまった訳です。私の勤務校を調べ、いろいろ探し回ったようですが、私の居所は不明でした。そんな時「くろすろ一ど」の記事とその中の1枚の写真が私とK君を結び付けてくれました。K君は同じG中学校の同級生と結婚し、現在お子さんが二人いるそうです。

毎回、多彩な記事にあふれている「くろすろ一ど」を楽しく読ませていただいています。これからは学習者・ボランティアの投稿の中に新しい何かが発見できればと思っています。私の学習者も、覚えた日本語の知識を駆使して一生懸命に会報を読んでいます。今回の件に関しては、会報部会の方々の心温まる対応にも感謝いたします。



「ひらがなで書きたいことば」

きんようごご きかくらいくお
金曜午後ボランティア 坂倉郁夫

「小さな脳に学ぶ」

きんようよる わだやすひろ
金曜夜ボランティア 和田泰弘

「形式名詞」と「補助動詞」という文法用語をお聞きになったことがありますか。手もとの辞書を見ると、形式名詞は、本来の実質的な意味がほとんどなく、修飾語をともなって使われる名詞で、「食べたことがない」の「こと」、「困ったものだ」の「もの」、「合格するわけがない」の「わけ」などがこれにあたりと説明されています。これにつけ加えれば、「お願いしたところ、断られた」の「ところ」、「風邪のために会社を休む」の「ため」、「君だって知っているはずだ」の「はず」なども形式名詞です。

おなじく、「補助動詞」は、本来の実質的な意味がほとんどなく、前の語句に添えて補助的な働きをする動詞で、「そのままにしておく」の「おく」、「秘密がばれてしまう」の「しまう」、「古い書類は黄ばんでくる」の「くる」などがこれにあたりと説明されています。これにつけ加えれば、「本を貸していただく」の「いただく」、「会社を経営していく」の「いく」、「話してあげる」の「あげる」なども補助動詞です。

もうお気づきかもしれませんが、形式名詞や補助動詞は、ともにひらがなで書くのが原則です。「実力の程は知らない」と書いても「ごひいきのほどお願いします」と書くのが一般的。「画集を見る」と書いても「やってみる」と書くのが正解です。

ひらがなで書く文面が明るく読みやすくなることうけあいです。私は「駆け付ける」「呼び掛ける」「考え込む」（いずれも複合動詞）の「付」「掛」「込」などの字も目ざわりに感じ、ひらがなにしています。みなさんはいかがでしょう。



幼児がことばを覚えていく過程は、大人が母語とは別の言語を習得する際の参考としてよく引き合いに出されます。幼児がどのような思考回路をたどってことばを獲得していくのかが解明できれば、それに役立つということなのでしょう。

私の身近に、今まさにことばを覚え始めた2歳3ヶ月の孫娘がおり、その様子を興味深く観察していますが、そんな折、『ちいさい言語学者の冒険』という本に出会いました。言語学者である母親が我が子の、ことばを覚えていくプロセスを観察し、そこには子どもなりのルールがあるということを見つけ、それらをまとめた一冊です。その中にこんな一例があります。息子さんが5歳の時、著者とこんな会話が合ったそうです。

「お手々洗わないでゴハン食べたらバイキンも一緒にお腹に入るよ。」

「…じゃ、これ食べたら死ぬ？」

正しくは「死ぬ」ですが、そこには規則があり、最初の頃に覚えたのが「飲む」「読む」「噛む」等の「マ行」動詞で、小さな脳はその活用を他の動詞に汎用できることを発見したのではと著者は推測しています。このような現象を「過剰一般化」（規則の誤用）といいます。前回この欄で紹介した、イ形容詞の「ない」形が干渉してナ形容詞の「きれい」を「きれくない」としてしまふ学習者の場合も同じといえます。著者はさらに、子どものことばは「過剰一般化」のデパートで、「規則正しく間違える」ことはゴールに到達するのに必ず通過する手順だと指摘しています。

私の孫は最近、「テ形」を使うようになり、それも「こちきて（来て）」「粘土をきて（切って）」「みて」「あけて」などの要求に限られ、彼女の社会への第一歩は「お願い」から始まったようです。外国人学習者が早い段階で依頼・許可などの機能シラバスを学ぶのと似ていますね。サロンの日本語学習に役立つことを願って、小さな脳が紡ぎ出す新たなことばに出会うのが目下の楽しみです。

みんなの広場

ふちゅうこくさいこうりゅう
～府中国際交流サロン～

「ホームページを見てくださいね！」

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

サロンのさまざまな情報は、ホームページで
ご覧になれます。長年にわたり増田誠一さんに
製作・管理をしていただいています。いつも陰
でサロンを支えて下さっている増田さんに感謝
です。今回もリニューアルされました。

トップページ

サロンのご案内 をクリックすると、
「サロンのリーフレット」が
見られるようになりました。



この印をクリックすると、
以下の情報も見られます！

- ホーム
- 日本語学習会
- 児童学習支援
- 最新情報
- イベント情報
- サロンでお茶会
- 地図とお問合せ
- 年度カレンダー
- 会報誌

「日本語と動物」

日本語には「動物」がたくさん登場します。
次の口の中に入る「動物」の名前は何でしょう？

1. 「口も木から落ちる」(上手な人が失敗すること)
2. 「口の手も借りたい」(とても忙しいこと)
3. 「逃がした口は大きい」(とても残念なこと)
4. 「口のなみだ」(ほんの僅か、少しのこと)
5. 「口が合う」(気が合うこと)
6. 「口の仲」(とても仲が悪いこと)

答え：1. さる 2. ねこ 3. さかな
4. すずめ 5. うま 6. いぬ、さる (犬、猿)
(出題：シーラカンス)

(絵手紙)



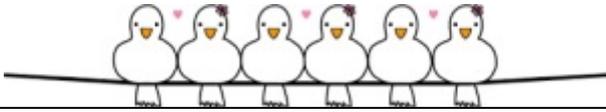
グエン ティン ラン (ベトナム)



ジョカ (中国)

「国際ふれあい会」

—私のふるさとを語る—



学習者の方々が自分の国を紹介し、参加者と国際交流を図る「国際ふれあい会～私のふるさとを語る」が今年も開催されます。

今年、ポーランドの野崎アガタさん、そしてモンゴルのプレブ ツァガンさんが、それぞれの国の文化、歴史などを語ってくださいます。

みなさま、是非ご参加ください。

日時：7月1日(土) 午後2時～4時

場所：府中駅北第2庁舎3階・第2会議室
(日本語学習会の部屋)

参加費：200円

*詳しいことはサロン事務局までお問い合わせください。

「実行委員会の監事が決まる」

今年度4月の実行委員会において委員、役員(会長・副会長)が選任されたことは本誌5月号でお知らせしましたが、5月の実行委員会で監事2名が選任されました。野田幸子さん、内田清美さんの任期満了に伴い、

池谷清子さん(金曜午後部会)

松木義信さん(金曜夜部会)

が信任投票の結果、今期の監事として選任されました。野田さん、内田さん、2年間お疲れさまでした。そして池谷さん、松木さん、よろしく願いいたします。
(編集部)

～編集後記～

ケヤキの新緑も夏のような気温のため、あっという間に濃い緑になりました。

昨今新聞紙上をにぎわしている言葉に「忖度」というのがあります。辞書によると、意味は「他人の気持ちをおしはかること」「他人の気持ちを考えること」とあるので、ずいぶんやさしい心の人が多いのかななんて思ってしまう。でも、ちょっと違ったニュアンスで使われていますね。

今年の「流行語大賞」になるかしら？(堤林)



【編集】会報部会/和田、堤林、高柳、篠塚、坂倉、増田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail: mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

